

3 事業報告書

事業報告書

令和元年度（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）

(1) 農作物共済関係

(引 受)

年産	区分	項目	組 合 数	引 受 積	引受収量	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料	手持共済金
元 年 産	水	稲	13,230	1,004,058.2	34,258,746	5,779,240,963	9,817,333		
	陸	稲							
		麦	29	11,659.9	259,619	26,799,406	1,141,861		
		計	延実 13,259 12,790	1,015,718.1	34,518,365	5,806,040,369	10,959,194	8,871,183	19,830,377
		前年対比		△ 4,534	△ 315,642.8	△ 11,647,636	△ 1,803,877,309	△ 3,557,152	△ 6,330,843
2 年 産		麦	23	9,492.0	228,182	21,925,852	903,303	605,186	1,508,489

水 稲

一筆方式、半相殺方式、全相殺方式、地域インデックス方式

年産	支所別	項目	組 合 数	引 受 積	引受収量	共済金額	徴収共済掛金
元 年 産	東	部	4,909	348,018.2	11,680,296	1,970,318,512	3,132,091
	中	部	3,481	264,239.7	9,051,576	1,537,028,659	2,878,260
	西	部	4,840	391,800.3	13,526,874	2,271,893,792	3,806,982
		計	13,230	1,004,058.2	34,258,746	5,779,240,963	9,817,333
		前年対比		△ 4,527	△ 311,130.2	△ 11,571,621	△ 1,797,721,531

品質方式

年産	支所別	項目	組 合 数	引 受 積	基 準 生産金額	共済金額	徴収共済掛金
元 年 産	東	部	0	0.0	0	0	0
	中	部	0	0.0	0	0	0
	西	部	0	0.0	0	0	0
		計	0	0.0	0	0	0
		前年対比		0	0.0	0	0

(引受の概況)

今年産より当然加入制から任意加入制となり、大幅な加入減が懸念されたが、共済部長、職員の推進により、引受計画は達成した。加入されなかった農家は、耕作面積が少ない農家、過去の被害の少ない方がほとんどであった。

収入保険への移行により545戸、1,338ha減となった。水稻共済と収入保険加入者の合計面積は11,379haとなり作付面積に対し85.6%の加入率となった。

麦

一筆方式、半相殺方式、全相殺方式

年産	項目 支所別	組 合 数 員 数	引 受 積 面 積	引受収量	共済金額	徴収共済 掛 金
元 年 産	東 部	3	636.5	5,379	128,747	4,585
	中 部	16	7,793.3	184,214	25,331,268	1,090,424
	西 部	10	3,230.1	70,026	1,339,391	46,852
	計	29	11,659.9	259,619	26,799,406	1,141,861

災害収入方式

年産	項目 支所別	組 合 数 員 数	引 受 積 面 積	基 準 生産金額	共済金額	徴収共済 掛 金
元 年 産	東 部	0	0.0	0	0	0
	中 部	0	0.0	0	0	0
	西 部	0	0.0	0	0	0
	計	0	0.0	0	0	0

(引受の概況)

令和元年産麦の引受面積は、約117haで前年に比べ約45haの減となった。東部支所管内では裸麦の作付が約2haの増、中部支所管内では任意加入制度による加入中止で7haの減、西部支所管内では大山小麦プロジェクトによる小麦の作付が約3haの増となったが、県下で収入保険への移行により約43haの減となった。

一筆方式、半相殺方式、全相殺方式

年産	項目 支所別	組 合 数 員 数	引 受 積 面 積	引受収量	共済金額	徴収共済 掛 金
2 年 産	東 部	4	997.1	8,819	193,701	6,588
	中 部	12	6,050.7	159,585	20,945,553	869,790
	西 部	7	2,444.2	59,778	786,598	26,925
	計	23	9,492.0	228,182	21,925,852	903,303
	前年対比	△6	△2,167.9	△31,437	△4,873,554	△238,558

災害収入方式

年産	項目 支所別	組 合 数 員 数	引 受 積 面 積	基 準 生産金額	共済金額	徴収共済 掛 金
2 年 産	東 部	0	0.0	0	0	0
	中 部	0	0.0	0	0	0
	西 部	0	0.0	0	0	0
	計	0	0.0	0	0	0
	前年対比	0	0.0	0	0	0

(引受の概況)

令和2年産麦の引受面積は、約95haで前年に比べ約22haの減となった。東部支所管内では裸麦の作付が約3.6haの増、中部支所管内では加入中止と収入保険移行で約17.4haの減、西部支所管内では小麦の作付面積減と収入保険移行で約7.9haの減となった。2年産より新たに収入保険へ移行した内訳は、中部支所2戸約7.3ha、西部支所2戸約2.3ha、合計4戸、約9.6haであった。

(被 害)

令和元年産水稻

一筆方式、半相殺方式、全相殺方式

項目 支所別	被 害 組合員数	共済減収量	共 済 金	$\frac{\text{共 済 金}}{\text{共済金額}}$	備 考
	人	kg	円	%	
東 部	162	48,754	8,669,254	0.4	
中 部	131	53,306	9,397,406	0.6	
西 部	144	52,059	8,707,475	0.4	
計	437	154,119	26,774,135	0.5	

品質方式

項目 支所別	被 害 組合員数	生産金額の減少額	共 済 金	$\frac{\text{共 済 金}}{\text{共済金額}}$	備 考
	人	円	円	%	
東 部	0	0	0	0.0	
中 部	0	0	0	0.0	
西 部	0	0	0	0.0	
計	0	0	0	0.0	

(被害及び評価の概況)

冬場の小雪、田植え期の少雨により水不足となり南部町、日南町及び日野町のほ場で移植不能（田植え不能）が発生した。また、7月8日から9日にかけて局地的な大雨により日野町のほ場で土砂が流入し、ほ場が埋没する被害（収穫皆無）が発生した。

県下全域においてイノシシによる食害や踏み倒しが発生、また、シカについては穂の食害も見受けられた。その他では、ウンカによる坪枯れ、イモチ病、ゴマ葉枯れ病が発生し、特に岩美町、伯耆町のほ場ではウンカの坪枯れにより大きな被害となった。なお、東郷湖周辺のほ場で発生していたジャンボタニシの食害は北栄町まで広がっている。

令和元年産麦

一筆方式、半相殺方式、全相殺方式

項目 支所別	被 害 組合員数	共済減収量	共 済 金	$\frac{\text{共 済 金}}{\text{共済金額}}$	備 考
	人	kg	円	%	
東 部	1	339	8,475	6.6	
中 部	8	10,314	1,416,720	5.6	
西 部	2	3,186	166,435	12.4	
計	11	13,839	1,591,630	5.9	

災害収入方式

項目 支所別	被 害 組合員数	生産金額の減少額	共 済 金	$\frac{\text{共 済 金}}{\text{共済金額}}$	備 考
	人	円	円	%	
東 部	0	0	0	0.0	
中 部	0	0	0	0.0	
	0	0	0	0.0	
計	0	0	0	0.0	

(被害及び評価の概況)

12月は曇天が続き、断続的な降雨があったため、根腐れによる生育不良などの湿害が一部ほ場で発生した。また、冬場の小雪及び温暖により生育が早まり、3月中に出穂したほ場では低温による不稔粒が発生し減収となった。

(支 払)		共 済 金 支 払 財 源						実 支 払 共 済 金
項目	支払月日	実支払共済金	保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
区分								
水 稲 (一筆方式) (半相殺方式) (全相殺方式)	令和元年 12月20日	円 26,774,135	円	円	円	円	円	%
麦 (一筆方式) (半相殺方式) (全相殺方式)	令和元年 9月26日	1,591,630						
計		28,365,765	0	19,830,377	8,535,388	0	0	100.0

(損害防止)

電気柵、ワイヤーメッシュなどの鳥獣害対策費用の一部助成を実施し、損害防止の充実を図った。

(2) 家畜共済関係

(引 受)

①農業災害補償法（旧法）の規定により成立した家畜共済の共済関係

項目 畜種別	有資格 頭数	事業計 画頭数	引受 頭数	引受 頭数 事業計 画頭数	共済金額	徴収 共済掛金	交付金又は 納入保険料	手持 共済掛金	摘要
	頭	頭	頭	%	円	円	円	円	
乳用成牛	0	0	0		0	0	0	0	
乳用子牛等	0	0	0		0				
肥育用 成牛	0	0	8		1,448,231	287,284	91,298	378,582	
肥育用 子牛	0	0	3		277,003				
他肉用 成牛	0	0	55		17,526,547				
他肉用 子牛等	0	0	33		3,053,129				
種豚	0	0	0		0	0	0	0	
肉豚	0	0	0		0	0	0	0	
肉用種 種雄牛	0	0	0		0	0	0	0	
計	0	0	99		22,304,910	287,284	91,298	378,582	
前年対比	△ 105,854	△ 74,153	△ 67,511		△ 5,804,152,345	△ 243,829,500	△ 78,212,578	△ 322,042,078	

項目 支所別	事業計 画頭数	成乳牛	育成 乳牛	乳用 子牛等	肥育用 成牛	肥育用 子牛	他肉用 成牛	他肉用 子牛等	種豚	肉豚	計	加入頭数 計画頭数
	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	%
東部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
西部	0	0	0	0	8	3	55	33	0	0	99	
計	0	0	0	0	8	3	55	33	0	0	99	

②農業保険法（新法）の規定により成立した家畜共済の共済関係

項目 畜種別	有資格 頭数	事業計 画頭数	引受 頭数	引受 頭数	共済金額	徴収 共済掛金	交付金又は 納入保険料	手持 共済掛金	摘要	
				事業計 画頭数						
	頭	頭	頭	%	円	円	円	円		
死亡 廃用 共済	搾乳牛	8,339	8,300	8,627	103.9	2,241,202,780	109,975,864	109,954,377	219,930,241	
	繁殖用 雌牛	3,899	3,853	4,170	108.2	1,290,060,550	11,132,799	11,103,820	22,236,619	
	育成乳牛 (子牛等)	5,354	5,170	6,983	135.1	1,393,131,810	9,351,279	9,337,939	18,689,218	
	育成・肥育牛 (子牛等)	28,933	26,903	30,551	113.6	6,901,130,400	71,091,503	71,015,176	142,106,679	
	種豚	3,915	0	0	0.0	0	0	0	0	
	肉豚	51,515	35,203	38,411	109.1	368,745,600	66,374	40,746	107,120	
計	101,955	79,429	88,742	111.7	12,194,271,140	201,617,819	201,452,058	403,069,877		
疾病 傷害 共済	乳用牛	9,574	9,168	9,404	102.6	178,582,856	64,374,004	64,372,318	128,746,322	
	肉用牛	17,860	17,039	17,701	103.9	193,239,641	53,467,901	53,466,009	106,933,910	
	種豚	3,915	0	0	0.0	0	0	0	0	
計	31,349	26,207	27,105	103.4	371,822,497	117,841,905	117,838,327	235,680,232		
合計	133,304	105,636	115,847	109.7	12,566,093,637	319,459,724	319,290,385	638,750,109		

項目 支所別	事業計 画頭数	搾乳牛	繁殖用 雌牛	育成乳牛 (子牛等)	育成・肥育牛 (子牛等)	種豚 (死)	肉豚	乳用牛	肉用牛	種豚 (病)	計	加入頭数 計画頭数
	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	%
東 部	17,582	1,392	982	1,343	8,188	0	0	1,554	5,205	0	18,664	106.2
中 部	36,918	4,121	1,564	3,015	17,071	0	0	4,783	9,336	0	39,890	108.1
西 部	51,136	3,114	1,624	2,625	5,292	0	38,411	3,067	3,160	0	57,293	112.0
計	105,636	8,627	4,170	6,983	30,551	0	38,411	9,404	17,701	0	115,847	109.7

(引受の概況)

農 家 数： 家畜共済加入農家数は、昨年度末から17戸の減少（新規加入1戸増加・廃業18戸減少）により実農家数で349戸となった。

頭 数： 制度改正をうけて死亡廃用共済と疾病傷害共済の両共済の加入維持が課題であったが、大多数の農家が両共済に加入したため事業計画頭数を上回った。

共済金額： 制度改正をうけて付保割合の選択の幅が広がった結果、一部の農家は付保割合を大きくあげたが、多くの農家は前年と同割合での引受となった。共済金額は死亡廃用共済が約121億9,400万円、疾病傷害共済が約3億7,200万円となった。

(事 故)

①農業災害補償法(旧法)の規定により成立した家畜共済の共済関係

畜種別	死 廃 事 故				病 傷 事 故	
	死亡頭数	廃用頭数	総 頭 数	支払共済金	件 数	支払共済金
	頭	頭	頭	円	件	円
乳用成牛	107	233	340	69,828,600	3,506	55,771,467
乳用子牛等	102	0	102	4,796,600	404	4,480,580
肥育用成牛	35	44	79	9,722,537	924	10,191,390
肥育用子牛	36	2	38	2,584,783	1,203	12,218,110
他肉用成牛	18	18	36	9,033,045	1,637	22,039,510
他肉用子牛等	104	1	105	12,439,435	1,319	17,618,890
種 豚	0	0	0	0	0	0
肉 豚	0	0	0	0	0	0
肉用種雄牛	0	0	0	0	0	0
計	402	298	700	108,405,000	8,993	122,319,947
前年対比	△ 948	△ 532	△ 1,480	△ 195,552,682	△ 12,740	△ 157,311,113

支所別	死 廃 事 故				病 傷 事 故	
	死亡頭数	廃用頭数	総 頭 数	支払共済金	件 数	支払共済金
	頭	頭	頭	円	件	円
東 部	91	48	139	20,420,843	1,764	25,697,520
中 部	172	126	298	42,691,190	3,812	50,637,407
西 部	139	124	263	45,292,967	3,417	45,985,020
計	402	298	700	108,405,000	8,993	122,319,947

②農業保険法(新法)の規定により成立した家畜共済の共済関係

畜種別	死 廃 事 故				畜種別	病 傷 事 故	
	死亡頭数	廃用頭数	総 頭 数	支払共済金		件 数	支払共済金
搾 乳 牛	165	421	586	128,310,807	乳 用 牛	5,424	84,104,165
繁 殖 用 牛	33	20	53	11,682,338	肉 用 牛	7,796	94,301,822
育 成 乳 牛 (子牛等)	230	14	244	17,526,006	種 豚	0	0
育 成・肥 育 牛 (子牛等)	652	133	785	99,699,265			
種 豚	0	0	0	0			
肉 豚	0	0	0	0			
計	1,080	588	1,668	257,218,416	計	13,220	178,405,987

支所別	死 廃 事 故				病 傷 事 故	
	死亡頭数	廃用頭数	総 頭 数	支払共済金	件 数	支払共済金
東 部	268	119	387	87,944,290	2,890	37,780,712
中 部	568	315	883	108,926,618	6,778	96,546,355
西 部	244	154	398	60,347,508	3,552	44,078,920
計	1,080	588	1,668	257,218,416	13,220	178,405,987

(事故発生概況)

死廃事故: 前年対比で153頭の増加となった。死廃事故原因の傾向としては、例年通り肺炎等の呼吸器病および下痢等の消化器病が3割近くを占めているが、今年度は乳用成牛の消化器病や乳用子牛等の出生時の事故が増加した。

支払共済金は前年より5,800万円、1頭当たりでは15,000円増加した。これは家畜評価額が上昇したことと、大型農家で死廃共済の付保割合を大幅に引き上げたためである。

病傷事故: 前年対比で件数は393件、支払共済金は前年より約2,000万円増加した。増加理由としては制度改正による新システムのリリースの遅れにより新制度分病傷カルテの処理を4月以降に行ったことが事故件数の増加に大きく影響している。また1頭当たりでは約670円増加した。これは、乳用成牛の繁殖障害がやや増加したことと診療点数表の見直しのためである。

(損害防止)

実施種目	対象頭数 又は回数	経費概算	摘 要
特定損害防止	頭(回) 0	円 0	
一般損害防止	畜舎消毒	126 389,000	疾病予防対策
	感染症予防	850 1,698,000	呼吸器及び泌乳器疾患予防対策
	代謝プロフィール	400 2,160,000	生産病低減対策
	合 計	1,376 4,247,000	

(実施状況等)

一般損害防止事業は、環境衛生指導等及び感染症予防対策として呼吸器病及び泌乳器病の対策を実施、また生産病低減対策として代謝プロフィールテストを実施した。疾病予防対策として畜舎消毒を行った。

(診療所)

診療所名	職員数	管 内		診 療 件 数		損 害 防 止 事 業			摘 要
		有資格頭数	加入頭数	共済事故	事 故 外	一 般	特 損	経費概算	
	人	頭	頭	件	件	頭(回)	頭(回)	円	
東部支所	3	6,704	6,703	1,519	1,278	175	0	450,000	
本 所	8	14,485	13,480	7,192	3,396	904	0	2,950,500	
西部支所	4	6,245	6,024	3,438	1,813	297	0	846,500	
計	15	27,434	26,207	12,149	6,487	1,376	0	4,247,000	

(概 況)

15名の獣医師で18,636件の診療を行った。前年対比では、共済事故が1,036件増加、事故外が1,113件増加した。また一般損害防止事業の一環として、代謝プロフィールテスト400頭および呼吸器感染予防注射850頭、畜舎消毒126回実施した。

(3) 果樹共済関係

(引 受)

年産	項目 区分	組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収 共済掛金	交付金又は 納入保険料	手 持 共済掛金
				基準生産金額 額				
元年産	なし	590	19,407.6	1,763,962 648,241,627	768,010,000	18,537,003		
	ぶどう	56	1,259.8	115,908	49,980,000	867,373		
	かき	192	5,209.3	591,726	73,170,000	2,157,850		
	計	838	25,876.7		891,160,000	21,562,226	12,096,587	33,658,813
2年産	なし	455	14,508.9	1,235,942 484,741,959	572,050,000	10,221,767		
	ぶどう	45	1,063.0	88,407	40,740,000	636,251		
	かき	155	4,120.0	406,312	43,490,000	1,202,086		
	計	655	19,691.9		656,280,000	12,060,104	6,136,317	18,196,421

なし

年産	項目 果樹共済保険区分	組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収 共済掛金	
				基準生産金額			
元年産	半相殺減収 総合一般方式	東 部	60	1,988.7	444,715	66,360,000	1,520,370
		中 部	37	1,311.4	284,478	38,620,000	995,900
		西 部	7	111.0	27,350	5,120,000	123,763
		計	104	3,411.1	756,543	110,100,000	2,640,033
	全 相 殺 品質方式	東 部	0	0.0	0	0	0
		中 部	122	4,189.0	1,007,419	144,670,000	4,338,085
		西 部	0	0.0	0	0	0
		計	122	4,189.0	1,007,419	144,670,000	4,338,085
	災 害 収 入 共 済 方 式	東 部	130	4,065.2	182,046,450	144,950,000	3,528,107
		中 部	152	5,086.5	293,235,416	230,310,000	4,718,108
		西 部	82	2,655.8	172,959,761	137,980,000	3,312,670
		計	364	11,807.5	648,241,627	513,240,000	11,558,885
	合 計	東 部	190	6,053.9		211,310,000	5,048,477
		中 部	311	10,586.9		413,600,000	10,052,093
		西 部	89	2,766.8		143,100,000	3,436,433
		計	590	19,407.6		768,010,000	18,537,003
2年産	半相殺減収 総合一般方式	東 部	52	1,745.7	382,251	59,830,000	1,164,477
		中 部	20	720.4	148,863	19,920,000	451,975
		西 部	7	110.0	21,794	3,920,000	81,852
		計	79	2,576.1	552,908	83,670,000	1,698,304
	全 相 殺 品質方式	東 部	0	0.0	0	0	0
		中 部	95	2,849.5	683,034	103,390,000	2,278,779
		西 部	0	0.0	0	0	0
		計	95	2,849.5	683,034	103,390,000	2,278,779
	災 害 収 入 共 済 方 式	東 部	108	3,327.4	149,552,102	119,110,000	2,131,332
		中 部	110	3,632.0	197,842,208	156,340,000	2,352,539
		西 部	63	2,123.9	137,347,649	109,540,000	1,760,813
		計	281	9,083.3	484,741,959	384,990,000	6,244,684
	合 計	東 部	160	5,073.1		178,940,000	3,295,809
		中 部	225	7,201.9		279,650,000	5,083,293
		西 部	70	2,233.9		113,460,000	1,842,665
		計	455	14,508.9		572,050,000	10,221,767

災害収入共済方式の標準収穫量欄には、基準生産金額を記載

(引受の概況)

令和2年産引受は、新規引受が20戸で約5haあったものの離農、廃園等で前年引受面積に対し約15ha減少した。また、その後収入保険への移行が約34haあり、最終的には前年対比約44haの減となった。有資格面積に対する農業保険（収入保険加入者含む）引受率は79.0%となった。

ぶどう

年産	項目		組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収 共済掛金
	果樹共済保険区分						
元年産	半相殺減収 総合一般方式	東部	8	109.9	9,740	4,260,000	71,443
		中部	5	83.0	9,230	4,280,000	72,760
		西部	0	0.0	0	0	0
		計	13	192.9	18,970	8,540,000	144,203
	全相殺減収 総合方式	東部	6	105.0	11,831	5,220,000	89,320
		中部	37	961.9	85,107	36,220,000	633,850
		西部	0	0.0	0	0	0
		計	43	1,066.9	96,938	41,440,000	723,170
	合計	東部	14	214.9	21,571	9,480,000	160,763
		中部	42	1,044.9	94,337	40,500,000	706,610
		西部	0	0.0	0	0	0
		計	56	1,259.8	115,908	49,980,000	867,373
2年産	半相殺減収 総合一般方式	東部	6	106.9	9,252	4,160,000	91,220
		中部	5	107.0	11,239	3,890,000	82,760
		西部	0	0.0	0	0	0
		計	11	213.9	20,491	8,050,000	173,980
	全相殺減収 総合方式	東部	5	85.0	6,933	3,180,000	30,541
		中部	29	764.1	60,983	29,510,000	431,730
		西部	0	0.0	0	0	0
		計	34	849.1	67,916	32,690,000	462,271
	合計	東部	11	191.9	16,185	7,340,000	121,761
		中部	34	871.1	72,222	33,400,000	514,490
		西部	0	0.0	0	0	0
		計	45	1,063.0	88,407	40,740,000	636,251

(引受の概況)

令和2年産引受は、廃園等により前年引受面積に対し約0.6haの減となった。その後、収入保険への移行が6戸、約1.4haあり、最終的には前年対比約2.0ha減となった。有資格面積に対する農業保険（収入保険加入者含む）引受率は64.1%となった。

か き

年産	項目		組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収 共済掛金
	果樹共済保険区分						
元年産	半相殺減収 総合一般方式	東 部	3	80.2	9,069	1,010,000	31,000
		中 部	2	61.2	6,656	780,000	24,450
		西 部	0	0.0	0	0	0
		計	5	141.4	15,725	1,790,000	55,450
	全相殺減収 総合方式	東 部	122	3,339.3	382,082	44,690,000	1,274,510
		中 部	9	181.6	23,039	2,720,000	83,265
		西 部	56	1,547.0	170,880	23,970,000	744,625
		計	187	5,067.9	576,001	71,380,000	2,102,400
	合 計	東 部	125	3,419.5	391,151	45,700,000	1,305,510
		中 部	11	242.8	29,695	3,500,000	107,715
		西 部	56	1,547.0	170,880	23,970,000	744,625
		計	192	5,209.3	591,726	73,170,000	2,157,850
2年産	半相殺減収 総合一般方式	東 部	3	80.2	8,445	800,000	25,833
		中 部	2	61.2	6,610	680,000	20,943
		西 部	0	0.0	0	0	0
		計	5	141.4	15,055	1,480,000	46,776
	全相殺減収 総合方式	東 部	106	2,898.6	284,785	28,590,000	710,597
		中 部	0	0.0	0	0	0
		西 部	37	936.2	91,446	11,830,000	400,257
		計	143	3,834.8	376,231	40,420,000	1,110,854
	全 相 殺 品 質 方 式	東 部	0	0.0	0	0	0
		中 部	7	143.8	15,026	1,590,000	44,456
		西 部	0	0.0	0	0	0
		計	7	143.8	15,026	1,590,000	44,456
	合 計	東 部	109	2,978.8	293,230	29,390,000	736,430
		中 部	9	205.0	21,636	2,270,000	65,399
		西 部	37	936.2	91,446	11,830,000	400,257
		計	155	4,120.0	406,312	43,490,000	1,202,086

(引受の概況)

令和2年産引受は、新規引受が8戸で3haあったものの廃園・離農などにより前年引受面積に対し約2haの減となった。その後、収入保険への移行が29戸、約9haあり、最終的には前年対比11haの減となった。有資格面積に対する農業保険（収入保険加入者含む）引受率は63.3%となった。

(被 害)

なし

項目		支所別	被害組合員数	認定減収量	共 済 金	共 済 金	
果樹共済保険区分						共 済 金	共 済 金 額
元年産	半相殺減収 総合一般方式	東 部	人	kg (円)	円		%
			10	36,173	1,280,700		1.9
		中 部	8	24,245	898,800		2.3
		西 部	3	3,617	235,900		4.6
		計	21	64,035	2,415,400		2.2
	全 相 殺 減 収 品 質 方 式	東 部	0	0	0		0.0
		中 部	5	8,878	447,900		0.3
		西 部	0	0	0		0.0
		計	5	8,878	447,900		0.3
	災 害 収 入 共 済 方 式	東 部	12	2,078,021	2,065,611		1.4
		中 部	2	99,872	98,026		0.1
		西 部	6	1,851,446	1,841,853		1.3
計		20	4,029,339	4,005,490		0.8	

(災害収入共済方式の認定減収量欄には、生産金額の減少額を記載)

(被害及び評価の概況)

4月上旬の低温や降雨の影響で雨害湿潤害が発生し減収となった。4月下旬の降雹で瘧果、果実に陥没の被害を受けた。収穫期にクマ、イノシシによる食害で減収となった。また、一部地域では7月から収穫期にかけてカラスによる食害で減収となった。

ぶどう

項目		支所別	被害組合員数	認定減収量	共 済 金	共 済 金	
果樹共済保険区分						共 済 金	共 済 金 額
元年産	半相殺減収 総合一般方式	東 部	人	kg	円		%
			1	687	112,200		2.6
		中 部	0	0	0		0.0
		西 部	0	0	0		0.0
		計	1	687	112,200		1.3
	全相殺減収 総合方式	東 部	0	0	0		0.0
		中 部	0	0	0		0.0
		西 部	0	0	0		0.0
計		0	0	0		0.0	

(被害及び評価の概況)

4月上旬及び下旬が雨の多い天候で推移し、その影響で黒とう病が発生した。6月からの生育期で被害が広がり減収となった。

かき

項目		支所別	被害組合員数	認定減収量	共 済 金	共 済 金	
果樹共済保険区分						共 済 金	共 済 金 額
元年産	半相殺減収 総合一般方式	東 部	人	kg	円		%
			1	710	62,000		6.1
		中 部	0	0	0		0.0
		西 部	0	0	0		0.0
		計	1	710	62,000		3.5
	全相殺減収 総合方式	東 部	24	23,446	1,338,300		3.0
		中 部	0	0	0		0.0
		西 部	20	22,836	1,788,800		7.5
計		44	46,282	3,127,100		4.4	

(被害及び評価の概況)

4月上旬の低温で凍霜害が発生し、減収となった。5月19日の強風により葉の破れや、枝折れの被害を受けた。7月からはカメムシの被害、9月には樹上軟化の発生、収穫期にはイノシシ、サルによる食害で減収となった。

(支 払) な し

項 目 果樹共済保険区分	支払月日	実支払 共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金
			保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立 金充当額	特別積立 金充当額	その他	
半相殺減収総合 一般方式	令和元年 12月20日	円 2,415,400	円 0	円 2,415,400	円 0	円 0	円 0	% 100.0
全 相 殺 減 収 品 質 方 式	令和2年 2月28日	円 447,900	円 0	円 447,900	円 0	円 0	円 0	円 100.0
災 害 収 入 共 済 方 式	令和2年 3月26日	円 4,005,490	円 0	円 4,005,490	円 0	円 0	円 0	円 100.0

(支 払) ぶどう

項 目 果樹共済保険区分	支払月日	実支払 共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金
			保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立 金充当額	特別積立 金充当額	その他	
半相殺減収総合 一般方式	令和元年 12月20日	円 112,200	円 0	円 112,200	円 0	円 0	円 0	% 100.0
全 相 殺 減 収 総 合 方 式		円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	

(支 払) か き

項 目 果樹共済保険区分	支払月日	実支払 共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金
			保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立 金充当額	特別積立 金充当額	その他	
半相殺減収総合 一般方式	令和2年 3月26日	円 62,000	円 0	円 62,000	円 0	円 0	円 0	% 100.0
全 相 殺 減 収 総 合 方 式	令和2年 3月26日	円 3,127,100	円 0	円 2,984,184	円 142,916	円 0	円 0	円 100.0

(4) 畑作物共済関係

(引 受)

区分	項目	組 合 数	引 受 積	引受収量	共済金額	徴 収 共済掛金	交付金又は 納入保険料	手 持 共済掛金
		人	a	kg	円	円	円	円
大 豆		181	42,969.7	497,186	98,883,188	3,419,922		
そ ば		161	9,870.8	21,803	6,770,151	546,625		
計	延 実	342 330	52,840.5	518,989	105,653,339	3,966,547	1,975,084	5,941,631
前年対比	延 実	△ 70 △ 69	△ 11,779.1	△ 162,337	△ 13,448,367	△ 955,103	212,486	△ 742,617

大 豆

支所別	項目	組 合 数	引 受 積	引受収量	共済金額	徴 収 共済掛金
		人	a	kg	円	円
東 部		42	6,477.4	55,386	9,705,967	289,868
中 部		100	25,737.1	324,539	72,313,127	2,628,041
西 部		39	10,755.2	117,261	16,864,094	502,013
計	延 実	181 175	42,969.7	497,186	98,883,188	3,419,922
前年対比	延 実	△ 54 △ 47	△ 11,876.6	△ 165,900	△ 15,456,791	△ 1,156,699

(引受の概況)

令和元年産大豆の引受面積は、約430haで昨年より約119ha減少した。大きな引受減の要因は、今年より始まった収入保険に移行した農家の大豆作付面積が県下で約85haあったこと、東部、中部の有資格面積が約40ha減少したことが挙げられる。

共済金額は単位当たり共済金額の平均値が上がったことにより、他の項目と比べ下がり幅が少なくなった。

そ ば

支所別	項目	組 合 数	引 受 積	引受収量	共済金額	徴 収 共済掛金
		人	a	kg	円	円
東 部		2	30.4	74	18,870	1,482
中 部		1	10.2	24	6,120	424
西 部		158	9,830.2	21,705	6,745,161	544,719
計	延 実	161 160	9,870.8	21,803	6,770,151	546,625
前年対比		△ 16	97.5	3,563	2,008,424	201,596

(引受の概況)

令和元年産そばの引受は、制度改正により統計単収で引受、評価を行う地域インデックスの引受ができるようになったため、東部、中部支所管内で新規の引受があった。

収入保険へ移行した農家もあったため引受戸数は減少したが、地域インデックスの引受、大規模に作付をおこなっている農家の加入により、面積、収量、共済金額は増加した。

大豆

(被害)

支所別	項目	被害 組合員数	共済減収量	共 済 金	共 済 金 共済金額
		人	kg	円	%
東 部		8	5,782	1,358,104	14.0
中 部		31	32,702	8,350,898	11.5
西 部		8	1,801	279,617	1.7
計	延 実	47 47	40,285	9,988,619	10.1

(被害及び評価の概況)

播種後の極端な降雨の影響で東郷湖畔沿いの地域では滞水するほ場が多く見られた。これにより土壌の過湿状態が続いたほ場では、根腐れによる生育不良や枯死が発生した。また、子実肥大期にあたる8月中下旬の度重なる降雨により、子実肥大が抑制され小粒となった。

また、10月中旬の降雨と10月下旬の高温・多湿により、子実に汚損粒、腐敗粒が発生し大幅な減収となった。その他では、山間部でシカやイノシシによる食害や踏み倒しなどの被害も発生した。

そば

(被害)

支所別	項目	被害 組合員数	共済減収量	共 済 金	共 済 金 共済金額
		人	kg	円	%
東 部		0	0	0	0.0
中 部		0	0	0	0.0
西 部		11	635	159,681	2.4
計		11	635	159,681	2.4

(被害及び評価の概況)

8月中下旬の度重なる降雨により、根腐れによる生育不良や枯死が発生した。

また、台風17号、19号の風雨により倒伏するほ場もあったほか、日南町、大山町ではイノシシによる踏み倒しの被害が発生した。

(支払)

区分	項目	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金
				保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立 金充当額	特別積立 金充当額	その他	
			円	円	円	円	円	円	%
大 豆		令和2年 3月26日	9,988,619						
そ ば		令和2年 3月26日	159,681						
計			10,148,300	3,685,151	5,936,972	526,177	0	0	100.0

(5) 園芸施設共済関係

(引 受)

施設区分	項目	組合員数	引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は納入保険料	手持共済掛金
		人	棟	m ²	円	円	円	円	円
ガラス室Ⅱ類		1	1	33	381,000	304,000	78	68	146
プラスチックハウスⅡ類		1,052	4,823	1,472,405	2,638,274,000	1,849,775,000	12,653,779	6,801,753	19,455,532
プラスチックハウスⅢ類		4	11	8,711	23,834,000	16,411,000	50,678	45,930	96,608
プラスチックハウスⅣ類(甲)		12	20	8,502	33,420,000	24,994,000	210,163	74,177	284,340
プラスチックハウスⅣ類(乙)		1	1	1,404	5,677,000	4,541,000	1,771	1,577	3,348
プラスチックハウスⅤ類		2	4	1,842	10,763,000	8,609,000	39,379	34,849	74,228
プラスチックハウスⅥ類		37	142	31,561	56,127,000	44,845,000	523,290	167,379	690,669
プラスチックハウスⅦ類		21	39	95,431	79,305,000	63,426,000	92,787	83,859	176,646
計		1,130	5,041	1,619,889	2,847,781,000	2,012,905,000	13,571,925	7,209,592	20,781,517

支所別	項目	組合員数	引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は納入保険料	手持共済掛金
		人	棟	m ²	円	円	円	円	円
東 部		203	510	130,840	262,065,000	207,783,000	1,397,939		
中 部		548	3,511	1,196,750	2,128,226,000	1,439,554,000	9,632,675		
西 部		379	1,020	292,299	457,490,000	365,568,000	2,541,311		
計		1,130	5,041	1,619,889	2,847,781,000	2,012,905,000	13,571,925	7,209,592	20,781,517

(引受の概況)

令和元年度は、前年比で33戸236棟の増(棟ベース105%)となった。(平成30年度加入者1,097戸4,805棟)
 これは、戸別推進に加え県補助事業の要件化、集団加入制度の導入など関係機関との連携により引受増となった。

(被 害)

項目 施設区分	被 害			損害の額	共 済 金						共 済 金 共済金額	
	組合 員数	棟 数	附 帯 施設数		特 定 園芸施設	附 帯 施 設	施 設 内 農 作 物	撤 去 費 用	本 体 復 旧	附 帯 復 旧		合 計
	人	棟	基	円	円	円	円	円	円	円	円	%
ガラス室Ⅱ類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
プラスチック ハウスⅡ類	35	41	0	2,130,805	1,012,510	0	338,350	160,000	56,000	0	1,566,860	0.1
プラスチック ハウスⅢ類	2	2	0	280,975	202,505	0	0	0	0	0	202,505	1.2
プラスチック ハウスⅣ類(甲)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
プラスチック ハウスⅣ類(乙)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
プラスチック ハウスⅤ類	1	1	0	62,685	50,148	0	0	0	0	0	50,148	0.6
プラスチック ハウスⅥ類	1	2	0	45,092	35,744	0	0	0	0	0	35,744	0.1
プラスチック ハウスⅦ類	1	1	0	30,491	24,392	0	0	0	0	0	24,392	0.0
計	40	47	0	2,550,048	1,325,299	0	338,350	160,000	56,000	0	1,879,649	0.1

項目 支所別	被 害			損害の額	共 済 金						共 済 金 共済金額	
	組合 員数	棟 数	附 帯 施設数		特 定 園芸施設	附 帯 施 設	施 設 内 農 作 物	撤 去 費 用	本 体 復 旧	附 帯 復 旧		合 計
	人	棟	基	円	円	円	円	円	円	円	円	%
東 部	5	7	0	521,016	199,548	0	0	160,000	56,000	0	415,548	0.2
中 部	28	32	0	1,819,147	958,331	0	338,350	0	0	0	1,296,681	0.1
西 部	7	8	0	209,885	167,420	0	0	0	0	0	167,420	0.0
計	40	47	0	2,550,048	1,325,299	0	338,350	160,000	56,000	0	1,879,649	0.1

(被害及び評価の概況)

令和元年度の主な被害は、強風（5月18～20日）、台風17号（9月23日）、台風18号（10月3日）等による風水害で35戸36棟 1,074,270円の被害が発生した。鳥獣害では、内作物被害としてイノシシによる1戸3棟338,350円の被害及びカラスによる被覆物への被害など3戸7棟 434,125円の被害が発生した。

令和元年度の被害は前年対比22棟の増、支払共済金は117,628円の減となった。

(支 払)

実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金
	保険金	手 持 掛 金 充 当 額	法 定 積 立 金 充 当 額	特 別 積 立 金 充 当 額	そ の 他	
円	円	円	円	円	円	%
1,879,649	220,642	1,659,007	0	0	0	100.0

(6) 任意共済関係

1. 建物共済

(引 受)

(1) 農家建物

種 類	項 目	加入 件数	加入 棟数	共済金額	共 済 掛 金		1 棟当たり 平均共済金額	保 険 料	保険手数料
					純共済掛金	賦 課 金			
火 災	東 部	9,865	18,914	220,042,580,000	96,565,648	78,997,719	11,633,847		
	中 部	6,696	11,232	157,056,620,000	69,504,007	56,868,189	13,982,961		
	西 部	8,893	16,585	182,319,770,000	80,136,912	65,557,682	10,993,052		
	計	25,454	46,731	559,418,970,000	246,206,567	201,423,590	11,971,046		
総 合	東 部	2,067	2,729	24,656,370,000	45,177,007	15,110,443	9,034,947		
	中 部	1,983	2,428	22,165,660,000	40,424,023	13,529,560	9,129,185		
	西 部	3,461	4,871	44,242,200,000	80,364,764	26,877,350	9,082,776		
	計	7,511	10,028	91,064,230,000	165,965,794	55,517,353	9,080,996		
合 計	東 部	11,932	21,643	244,698,950,000	141,742,655	94,108,162	11,306,147		
	中 部	8,679	13,660	179,222,280,000	109,928,030	70,397,749	13,120,225		
	西 部	12,354	21,456	226,561,970,000	160,501,676	92,435,032	10,559,376		
	計	32,965	56,759	650,483,200,000	412,172,361	256,940,943	11,460,442	221,891,466	72,378,963

(引受の概況)

農家数の減少をはじめ、高齢化や世代交代による継続中止が要因となり、前年共済金額に対して県計で256億円の減（火災共済308億円減、総合共済52億円増、△3.8%）となった。

(事 故)

(1) 農家建物

種 類	項 目	共済金額	事故棟数	支 払 共 済 金	保 険 金	被 害 率
火 災	東 部	220,042,580,000	29	36,960,219	11,088,056	0.017
	中 部	157,056,620,000	20	72,144,663	21,643,394	0.046
	西 部	182,319,770,000	60	112,306,258	33,691,856	0.062
	計	559,418,970,000	109	221,411,140	66,423,306	0.040
総 合	東 部	24,656,370,000	44	7,635,888	2,290,754	0.031
	中 部	22,165,660,000	33	8,022,424	2,406,718	0.036
	西 部	44,242,200,000	84	39,098,471	11,729,510	0.088
	計	91,064,230,000	161	54,756,783	16,426,982	0.060
		(上記のうち地震)	(4)	(2,233,572)		
合 計	東 部	244,698,950,000	73	44,596,107	13,378,810	0.018
	中 部	179,222,280,000	53	80,167,087	24,050,112	0.045
	西 部	226,561,970,000	144	151,404,729	45,421,366	0.067
	計	650,483,200,000	270	276,167,923	82,850,288	0.042

(事故の概況)

令和元年度は、被害棟数が前年対比107%と増加したものの、支払共済金は全年対比96%（△1,068万円）と前年を下回った。火災による全焼事故が7戸9棟発生し11,633万円の支払いとなった。

(2) 建物共済原因別事故発生状況

事故原因		加入総共済金額 (イ)	事故棟数	支払共済金 (ロ)	保 険 金	支 払 率 (ロ) / (イ)	備 考
火 災	火 災	293,160,000	45	202,420,245	60,726,059	69.048	
	落 雷	636,350,000	43	15,145,531	4,543,643	2.380	
	そ の 他	248,880,000	21	3,845,364	1,153,604	1.545	
	小 計	1,178,390,000	109	221,411,140	66,423,306	18.789	
総 合	火 災	90,500,000	10	24,128,796	7,238,635	26.662	
	落 雷	175,000,000	15	3,330,155	999,039	1.903	
	自然災害	1,374,300,000	128	26,717,748	8,015,285	1.944	
	そ の 他	102,500,000	8	580,084	174,023	0.566	
	小 計	1,742,300,000	161	54,756,783	16,426,982	3.143	
合 計		2,920,690,000	270	276,167,923	82,850,288	9.456	

2. 農機具共済

(引 受)

(1) 農機具損害共済引受状況

種 類	項 目	加入 件数	加入 台数	共済金額	共 済 掛 金		1台あたり 共済金額	保 険 料	保険手数料
					純共済掛金	賦 課 金			
火 災	東 部	122	462	236,120,000	153,552	95,500	511,082		
	中 部	75	327	155,830,000	102,778	63,207	476,544		
	西 部	96	384	157,300,000	98,161	62,696	409,635		
	計	293	1,173	549,250,000	354,491	221,403	468,244		
総 合	東 部	652	1,278	1,910,800,000	10,795,295	2,268,825	1,495,149		
	中 部	754	1,865	3,473,980,000	18,596,163	4,078,062	1,862,724		
	西 部	497	1,352	2,572,240,000	13,553,842	2,999,895	1,902,544		
	計	1,903	4,495	7,957,020,000	42,945,300	9,346,782	1,770,194		
合 計	東 部	774	1,740	2,146,920,000	10,948,847	2,364,325	1,233,862		
	中 部	829	2,192	3,629,810,000	18,698,941	4,141,269	1,655,935		
	西 部	593	1,736	2,729,540,000	13,652,003	3,062,591	1,572,316		
	計	2,196	5,668	8,506,270,000	43,299,791	9,568,185	1,500,753		

(引受の概況)

令和元年度の引受台数は、火災共済で63台の減少、総合共済では58台の増加となり、全体として前年対比5台の減となった。機械の大型化に伴う加入金額の増額もあり、総共済金額は前年対比で約4億3千万円の増加となった。

(事 故)

(1) 農機具損害共済支払状況

種 類		項 目	共済金額 (イ)	事故台数	支 払 共 済 金 (ロ)	保 険 金	被 害 率 (ロ)/(イ)
火 災			円 549,250,000	台 0	円 0	円 0	% 0.000
総 合	東 部		1,910,800,000	36	3,428,635	0	0.179
	中 部		3,473,980,000	74	12,551,566	0	0.361
	西 部		2,572,240,000	41	6,164,203	0	0.240
	計		7,957,020,000	151	22,144,404	0	0.278

(事故の概況)

令和元年度の事故件数は、接触・衝突等の稼働中の事故を中心に前年対比1件の増加となった。また、支払共済金は約122万円の減少となった。

(2) 農機具損害共済原因別事故発生状況

事故原因		項 目	加入総共済金額 (イ)	事故台数	支払共済金 (ロ)	支払率 (ロ)/(イ)
火 災		格納中火災	円 0	台 0	円 0	% 0.000
総 合	火 災 及 び 稼働中	接 触 衝 突	285,030,000	87	9,669,416	3.392
		転 覆 墜 落	14,190,000	8	2,118,426	14.929
		火 災	2,020,000	6	1,334,200	66.050
		そ の 他	136,690,000	50	9,022,362	6.601
		小 計	437,930,000	151	22,144,404	5.057
計			437,930,000	151	22,144,404	5.057

(7) 農機具更新共済関係

(引 受)

(1) 農機具更新共済引受状況

支所	項 目	加入台数	共済金額	減価共済金	共 済 掛 金		
					純 共 済 掛 金		賦課金
					損害部分	減価部分	
	台	円	円	円	円	円	
東 部		0	0	0	0	0	
中 部		0	0	0	0	0	
西 部		0	0	0	0	0	
計		0	0	0	0	0	

(事 故)

(1) 農機具更新共済支払状況

支所別	項目 総共済金額 (イ)	事故件数		期間満了 台数	支 払 共 済 金			被害率 (ロ) / (イ)
					火災等事故 (ロ)	期間満了 によるもの	計	
東 部	円 0	件 0	台 0	台 0	円 0	円 0	円 0	% 0.000
中 部	0	0	0	0	0	0	0	0.000
西 部	0	0	0	0	0	0	0	0.000
計	0	0	0	0	0	0	0	0.000

(2) 農機具更新共済原因別事故発生状況

事故原因	項目 総共済金額 (イ)	事故台数	支払共済金 (ロ)	支 払 率 (ロ) / (イ)
衝 突	円 0	台 0	円 0	% 0.000
接 触	0	0	0	0.000
火 災	0	0	0	0.000
そ の 他	0	0	0	0.000
計	0	0	0	0.000

(8) 農業経営収入保険関係

(加入状況)

項目 経営体	加入 経営体	基準収入額	保 険 部 分		積 立 部 分	
			保険限度額	保険金額	基準補てん金額	補償対象金額
個人経営	991	円 6,280,528,336	円 4,986,313,465	円 4,435,011,267	円 592,617,129	円 527,632,436
法人経営	37	869,300,039	690,283,404	621,255,050	83,349,004	75,014,092
計	1,028	7,149,828,375	5,676,596,869	5,056,266,317	675,966,133	602,646,528

項目 経営体	加入者負担 保険料	加入者負担 積立金	事務費
個人経営	円 46,771,067	円 131,908,428	円 14,551,307
法人経営	6,503,802	18,753,537	1,680,071
計	53,274,869	150,661,965	16,231,378

平成31年4月～令和2年3月に保険期間が開始した加入経営体

(保険金等支払状況)

項目 経営体	支払済み 経営体数	支払済み 保険料・積立金
個人経営	23	円 15,914,100
法人経営	0	0
計	23	15,914,100

* 令和2年3月末現在、支払いが完了した経営体